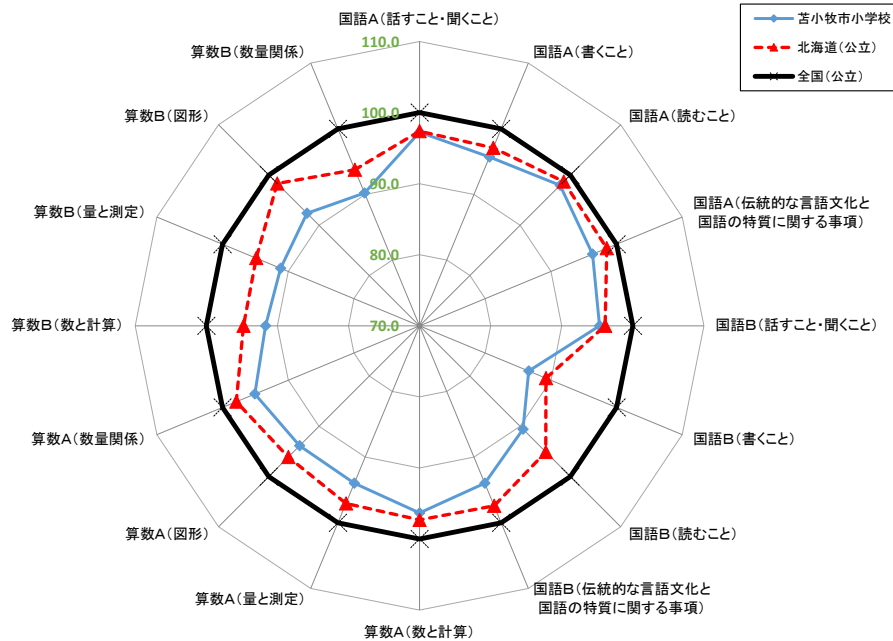


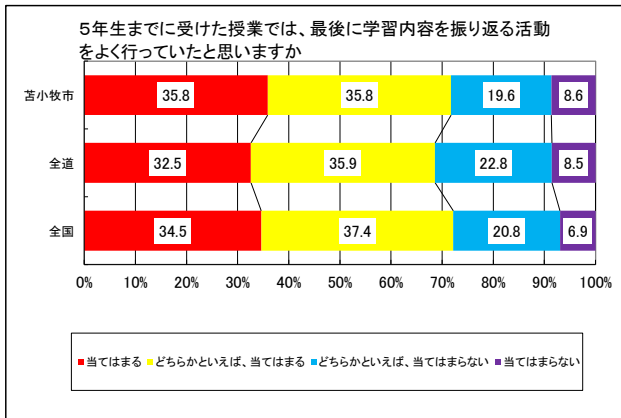
■ 苫小牧市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:24校、児童数:1,570名)

【教科全体の状況】

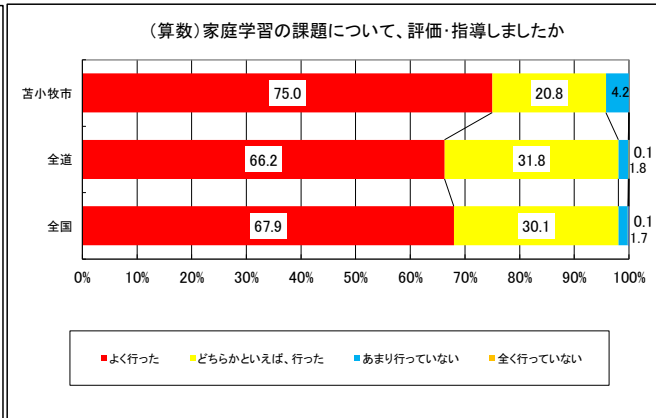
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において全道、全国の平均正答率を下回っているが、国語A・Bともに「話すこと・聞くこと」の全道との差が最も小さい。	○ 各学校で、授業の最後に振り返る活動を位置付けるとともに、家庭学習の課題について、適切に評価・指導をしたことにより、児童に学力の定着が図られてきていると考えられる。
児童質問紙	○ 振り返る活動を行っていたと回答した児童は全道、全国よりも多い。	
学校質問紙	○ 家庭学習の課題について、評価、指導した学校は全道、全国よりも多い。	

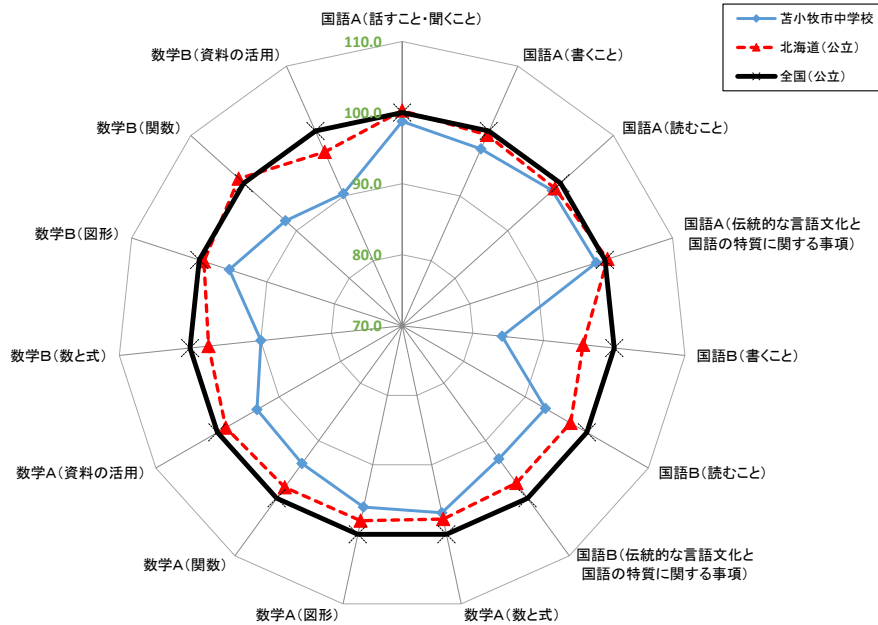
【苫小牧市の学力向上策】

- ◎ 授業改善の徹底した取組の推進
 - ・苫小牧市教育研究所学力向上研究委員会による教職員研修の充実
 - ・授業改善推進教師による授業スタイルの確立と浸透
 - ・苫小牧市学力向上推進資料(苫小牧っ子学力UP!ハンドブック)の作成・全教員への配付
- ◎ 小・中学校間での学習指導の連携
 - ・学力向上エリア会議の設置
 - ・学習指導に関する連携プランの構築
- ◎ 学校教育と家庭教育の連携・協力の推進
 - ・家庭教育に関する情報紙【「ほ・む・す・く」(ほーむ&すくー)】の発行
 - ・家庭の教育力の向上を目指した研修機会の充実
 - ・児童生徒の生活習慣に関する調査結果の分析及び改善に向けた啓発

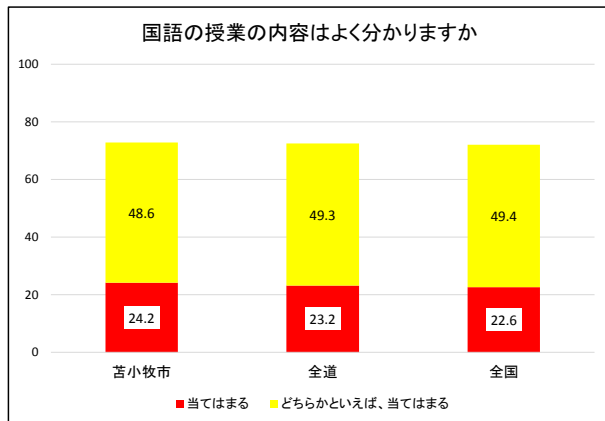
■ 苫小牧市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:14校、生徒数:1,473名)

【教科全体の状況】

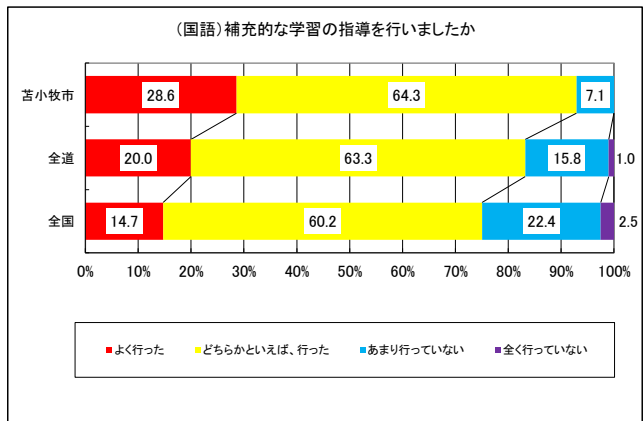
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科において全道、全国の平均正答率を下回っているが、国語Aにおいて、全道、全国との差が小さくなっている。	○ 教育委員会と連携し、各学校で、国語の補充的な学習の指導を生徒一人一人の実態に合わせて行ったことにより、国語の授業の内容がよく分かるという回答につながっていると考えられる。このことにより、学習内容の定着が図られ、全道及び全国との差が縮まりつつあると考えられる。
生徒質問紙	○ 国語の授業の内容がよく分かれると回答した生徒の割合は、全道、全国よりも多い。	
学校質問紙	○ 国語の指導として補充的な学習の指導をした学校は、全道、全国よりも多い。	

【苫小牧市の学力向上策】

- ◎ 授業改善の徹底した取組の推進
 - ・苫小牧市教育研究所学力向上研究委員会による教職員研修の充実
 - ・授業改善推進教師による授業スタイルの確立と浸透
 - ・苫小牧市学力向上推進資料(苫小牧っ子学力UP!ハンドブック)の作成・全教員への配付
- ◎ 小・中学校間の学習指導の連携
 - ・学力向上エリア会議の設置
 - ・学習指導に関する連携プランの構築
- ◎ 学校教育と家庭教育の連携・協力の推進
 - ・家庭教育に関する情報紙【「ほ・む・す・く」(ほーむ&すくー)】の発行
 - ・家庭の教育力の向上を目指した研修機会の充実
 - ・児童生徒の生活習慣に関する調査結果の分析及び改善に向けた啓発